

# なぜ登山道に階段があるのでしょうか？



作業前



作業中



作業後

「登山道に階段があると歩きづらい！」登山者からあまり良いイメージがないこの階段。階段にどんな意味があるか、ご存知ですか？

多くの人が歩いた登山道は少しずつ窪んでいき、その窪みには雨水が流れ込みます。流れ込んだ雨水は地面を削り、気が付くとスロープ状の大きな窪みが出来てしまうのです。雨水の通り道となった登山道は滑りやすく、転倒事故を誘発することにもつながります。

このように荒廃してしまった登山道に対し、上の

写真のように階段や雨水を排水する溝を設置することで、登山道を削る雨水を登山道の外に流し、上部から雨水とともに流れてくる土砂を貯め、これ以上登山道が削られないように対策しています。

東京都レンジャーは自然公園内を巡回し、登山道が滑りやすい箇所・荒廃し歩きにくい箇所に対し、階段を追加するなどの補修作業を行い、登山道の荒廃を防ぎ、歩きやすい登山道の管理を心掛けています。

## 檜原小学校遠足登山 ボリューム満点今春の花

檜原村立檜原小学校5、6年生の遠足に同行してきました。御岳山から大岳山へと登り、そして檜原村へと下山する険しく長い縦走コースでした。人と自然とのつながり、動植物との関わり、自然公園利用マナーやレンジャーのお仕事などを伝えながら楽しく安全に歩いてきました。

天候も良く山頂からは御前山や三頭山がバッチリ見えました。檜原小学校のみんなは、とっても元気！下山後もサッカーやろーって校庭に駆けて行きました。さすが山の子。すごい！



フジで紫色だった山が、今はガクウツギで真っ白。今春の花はボリューム満点！ツツジなど樹木の花は、『今年は花付きがいいね。特にフジはすごいね！』という話を登山者や地元で長年住んでいる方からよく聞きます。スミレなどの草花は、早春暖かい日が続く低山では開花が早かったものの、その後平年並みの気温が続く、段々平年並みに近づいています。



フジ



ガクウツギ

### 東京都レンジャーの業務

- 1 観光客などへの利用マナーの普及、啓発
  - 2 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
  - 3 利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
  - 4 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

### 自然情報などの問い合わせ

- 高尾ビジターセンター 042-664-7872  
 奥多摩ビジターセンター 0428-83-2037  
 御岳ビジターセンター 0428-78-9363  
 小峰ビジターセンター 042-595-0400  
 山のふるさと村ビジターセンター 0428-86-2551